

令和6年度第2回 門真市地域公共交通会議 議事録

日 時：令和7年3月14日（金）午後2時～

場 所：門真中町ビル 3階 大ホール

出 席 者：【委員】委員12名中10名出席

田中会長、西堀副会長、檀委員、宮本委員、松本委員、吉岡委員、俵委員、釈迦戸委員、大石氏（中村委員代理）、長谷川委員、吉井委員、良委員

【事務局】

まちづくり部 真砂次長、安渡総括参事

地域整備課 長光課長、本村課長補佐、西本主任、木村主査

パシフィックコンサルタンツ(株) 橋内技術課長、藤井技術主任

傍 聴 者：7名

議事次第：1. 開会

2. 議事

案件1 令和6年度第1回門真市地域公共会議での意見への対応について

案件2 門真市乗合タクシーについて

案件3 門真南ルートワゴン型バスについて

案件4 門真南ルートワゴン型バスの再編について(諮問)

案件5 答申書(案)

3. 門真市地域公共会議のスケジュールについて

4. その他

5. 閉会

1. 開会

【事務局（長光課長）】

定刻より少し早いのですが、令和6年度第2回門真市地域公共交通会議を開会いたします。

本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。司会を務めさせていただきます、まちづくり部地域整備課の長光でございます。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、委員の交代がございましたので、ご紹介させていただきます。

門真交通(株) 松田委員の後任で、俵委員でございます。

【俵委員】

門真交通の俵と申します。乗合タクシー、オンデマンドタクシーということで、ドライバーを務めさせていただいております。この中で現場に最も近い人間かもしれませんが、お手柔らかによろしくお願いいたします。

【事務局（長光課長）】

本日は、委員12名中12人がご出席されており、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

なお、本会議は後日議事録を作成させていただくため、会議内容を録音させていただきますことと、会議風景の写真撮影を行う場合がございますので、何卒ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。

す。

本日は、昨年6月より運行エリアを拡大いたしました門真市乗合タクシーの利用状況の報告、及び、令和7年度にルート再編を予定しております門真南ルートワゴン型バスの再編を決議いただくこととしております。

委員の皆さまにおかれましては、忌憚のないご審議をいただきますようお願い申し上げます。

それでは、次に、本日の資料を確認させていただきたいと存じます。

資料1 議事次第

資料2 門真市地域公共交通会議委員名簿

資料3 配席図

資料4 諮問書

資料5 令和6年度第1回門真市地域公共交通会議での意見への対応について

資料6 門真市乗合タクシーについて

資料7 門真南ルートワゴン型バスについて

資料8 門真南ルートワゴン型バスの再編について（諮問）

資料9 答申書（案）

でございます。資料の不足はございませんでしょうか。

本日の出席者につきましては、資料3「配席図」のとおりでございます。

それでは、ここからの進行につきましては、田中会長にお願いしたいと思います。

会長、よろしくお願いいたします。

2. 議事

案件1 令和6年度第1回門真市地域公共交通会議での意見への対応について

【田中会長】

それでは、皆様、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

早速ですが、議事の案件1の「令和6年度第1回門真市地域公共交通会議での意見への対応について」を事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（PCKK）】

資料5の「令和6年度第1回門真市地域公共交通会議での意見への対応について」を説明

（説 明）

【田中会長】

どうもありがとうございました。この表に関しまして、第1回の意見への対応につきまして、何かご意見等がありましたらよろしくお願いいたします。よろしいですか。

具体的には、今回資料の該当箇所とある一番右側の列のところ、ここで説明があるという形になるかと思えます。

そうしましたら、令和6年度第1回門真市地域公共交通会議での意見への対応については、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。お諮りしたいと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【田中会長】

どうもありがとうございます。異議なしとのお声をいただきましたので、この意見への対応については事務局案を採用し、決定いたしたいと思います。

案件2 門真市乗合タクシーについて

【田中会長】

続きまして、次第2の「議事」案件2「門真市乗合タクシーについて」、事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（PCKK）】

資料6の「門真市乗合タクシーについて」を説明

(説 明)

【田中会長】

どうもありがとうございました。門真市乗合タクシーについて、ご意見、ご質問等がありましたらよろしくをお願いします。

【宮本委員】

近鉄バスでございます。ご説明ありがとうございます。5ページの乗合タクシーの利用状況ですが、6月以降も、それより前もそうですが、岸和田1丁目と千石東町の間の利用が太く、多いのですが、これはこういったご利用の方がおられると分析されているか教えていただけますでしょうか。

【事務局】

この線につきましては、4月から5月と、6月から7月につきましても両方39件、42件になっているのですが、一定の方がヘビーユーザーで使われているというのが現状でして、この方が門真団地からバスに乗ってどこかに行かれているというわけではございません。以上になります。

【宮本委員】

具体的な目的地としては、例えばスーパーとかそういったところですか。

【事務局】

目的地についてはわかりませんが、利用データを見た感じでは、岸和田に住まれている方が門真団地のほうへ行かれているというデータは出ております。

【事務局】

1点補足ですが、千石東町というところは小さい商業施設であったり、病院であったりという生活利便施設が集まっているところという特徴がございます。ここから先への行き先のところですが、こちらに京阪バスさんのロータリーがありますので、そこから乗り継いでいかれているかというのは、乗り継ぎ利用券のご利用状況を見て確認したのですが、そこからバスに乗り換えられている形跡はございませんでしたので、恐らくこの周辺でのご利用と分析しております。以上でございます。

【田中会長】

どうもありがとうございます。かなり詳細な分析のようですが、ほかに何かご質問、今の件でもよろしいですし、ほかのご意見でも構いませんが、ご質問、ご意見等がありましたらよろしくお願いいたします。

【檀委員】

京阪バスの檀でございます。配車回数の中で、配車不可回数を今回お出しいただいておりますが、この配車不可回数の理由としては、時間がダブっているというのか、なぜこれが配車できなかったのかという原因はわかります。

【田中会長】

これはデータとして、ありますでしょうか。事務局、お願いします。

【事務局】

この理由につきましては、直前予約もありまして、既に予約が入っているところにさらに予約が入ってきた場合、同じ方面であれば乗れるのですが、異なる方面で既に予約が入っている場合は、違う時間帯に回していただいているのですが、違う時間帯では無理だというときは配車できないということになっております。

【事務局】

一番多い理由が、病院の行き帰りのときに、帰りの時間帯がわからないから帰りの予約ができないという状態で、終わり次第予約を入れてくださいとしているのですが、終わってから連絡を入れたときに、既に予約が入って行けないというのでお断りをしているというのが一番多いのではないかと分析しております。

【田中会長】

ありがとうございます。このようなときは、先ほどお話がありましたような乗合というのも難しいということなんですかね。

【事務局】

現在、電話予約での受付という形にしているのですが、例えば1件目の予約が入って、それがご自宅から利用になる。2件目の予約が例えば朝一の予約に対して、次は昼頃に電話がかかってきて、同じような場所から同じ病院に行かれるとした場合、迎えに行く時間をお二人のところに再度連絡を入れて、9時の待ち合わせだったのを9時15分にしてください。次の方は9時15分の約束だったけれど9時半にしてくださいというようなことを、人海戦術でマッチングをしていくというところ。これが非常に難しいというところで、1台につきお1人しか乗せられていないという状況になっているといったところです。

【田中会長】

どうもありがとうございます。このような状況のようです。
ほかは何かございますでしょうか。

【大石委員】

大阪運輸支局の大石と申します。代理で参りました。

一番最初にご質問いただきましたお話と近いのですが、岸和田1丁目から千石東町に、それは商業施設があって、そこにいらっしゃっているのではないかというお話だったと思うのですが、同時に、6ページの(12)の目的地に向かう際の乗車時間帯を拝見したときに、いろいろな捉え方はあると思うのですが、特に顕著なのは、スーパー、物販店舗へ15時台にいらっしゃる方が6割ということで、16時台は2%ということだと思うのですが、15時台だけ切り出して6割の人がその時間帯にこの目的で利用されているということを見たときに、そのヘビーユーザーの方がいらっしゃっている時間帯もそうなのか。

つまり乗合率を高めていくための作戦というか、戦略というか、どういうターゲットとか場面に絞っていくことがこういった利用状況把握の結果から考えられるかということを探求してお話なのですが、6割の方が15時台の60分間で乗ってこられて、このNが211だとしたら、イコール回数とは言えないかもしれませんが、日にしたら2日に1回ぐらいの人が15時台に乗ってこられる形になるので、ダイヤを決めるとか逆にしないほうがいいように思うのですが、発信の仕方、何時だったら一緒に行って、一緒に帰れますというようなソフトな束ね方というか、一緒に行き帰りいただきたい方みたいなことを、ヘビーユーザーの方などにアプローチしたり、また広報もいいかもしれないですが、そういったアプローチができるのではないかと感じました。ほかに、この結果を捉えていただいた中で、こういう形の乗合率の向上がよいかもしれないといったようなご検討があれば併せてお聞きできればと思います。以上です。

【事務局】

資料の5ページをごらんいただきますと、一番上の島頭3丁目の33、ここにスーパーのライフがございます。ここへの目的地というところが結構多いのと、その下の蒼生病院が77、このところが突出して大きい行き先ということになります。

今委員にご提案いただいたように、商業施設に行かれる方、33のところですが、ライフに行かれている方が非常に多くあります、また出発地としては下の千石東町の75、64というところで、出発地と到着地のところが一定固まっているところがありますので、そのあたりのところで、何時出発の便がこの日はあるというところ、そういうことを検討していてもいいかなと感じました。

一方で、タクシーの台数が1台、もしくは2台で今動いている状況ですので、その時間帯にそこに配車を固定させることについては課題があると感じました。以上でございます。

【大石委員】

ありがとうございます。もともとの趣旨といいますか、高齢者の方、障害者の方、妊産婦の方が一緒に連れ立って行きましょうということがイメージできそうな方々と、単独に近い状態で乗りたいという方と両方いらっしゃる気がしますので、一緒に乗ることに抵抗が少なそうの方への発信として何か戦略があるといいなと思いました。

【田中会長】

どうもありがとうございます。ほかは何かございますでしょうか。

【西堀副会長】

説明ありがとうございました。まず2つ簡単な質問をさせていただき、それを踏まえてコメントさせて

いただきます。質問ですが、3ページの乗合率の資料がございしますが、右上に同乗者数の推移とあります。介助の方を含めてかと思うのですが、この数字は乗合率に含まれているのか教えてください。

【事務局】

資料の(2)に記載しております乗合率のところには、含んでいない状況です。

【西堀副会長】

わかりました。ありがとうございました。

もう1つ確認ですが、6ページの時間帯別の目的地のグラフで、目的地の判定は降車場所のどの建物の前かということで判断しているということでしょうか。

【事務局】

はい。運行記録を見まして、施設名を記載されているところで判断しております。

【西堀副会長】

その他が何なのか気になっていまして、12時台で63%あるということで、何か特徴的な施設に集中して利用されているのかどうか。これはNが249ということで、決して少なくない量ですので、こうしたところが乗合率に影響したかどうかが気になったので教えていただけますでしょうか。

【事務局】

(11)のところのグラフをごらんいただきますと、そこにもその他と記載させていただいているところがあります。運行区域外の青い枠の左側のその他のところに書かせていただいているのですが、事業所等へのリピーターの方、ハードユーザーの方というところでございます。

【西堀副会長】

わかりました。ありがとうございます。

1つコメントですが、これまでも出ている話ですが、乗合率をどう高めていくのかということで、大石委員の話にも重なるところがあるのですが、今後の対策として予約アプリ・配車システムを検討されているということですが、現在のやり方で何かできることはないかということを考えることも大事ななことでの発言ですが、大石委員もおっしゃられましたが、今どの時間帯にすごく利用が集中していて、逆にどの時間なら予約が取りやすいですよといったことを利用者の方に周知するのも1つかなと。

例えば車内にそういったものを掲示するというのも1つだと思いますし、そういうことで、この時間だったら取りにくいんだな、逆にこの時間だったら空いていて取りやすいんだなということが伝わるような形での周知は、特に利用されている方が見られるような場所に掲出されると効果が期待できるのではないかと考えております。

それをやっていくべきと思ったのは、3ページで、マイナンバーカードの利用者数は今も増え続けているということですね。一方で、利用数のほうが、乗合率の問題もあるということですが、横ばいという状況。ということは、需要は増え続けているのですが、それに追いついていない。顕在化できていないということがあるのかなと思います。

ということは、1回使ってみただけでも、予約が取れなかったからやめてしまおうという方も一定数おられるのかなと思いますので、そういった方々が次も使ってみようと思っていただくようにするための何

らかの方法、周知ということをしていくことが大事なかなと思いました。以上でございます。

【田中会長】

どうもありがとうございます。今のご意見に対して何かございますでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。3ページ目の(2)の利用状況のところですが、10月が突出して469と増えているところがございます。周知のところ、今ひらめいたところなのですが、ここは広報かどまへ掲出したことによって周知が行き渡って一遍に利用が伸びたというところがございます。

これに並行して、公式LINEやSNSでも周知をしておりましたので、委員ご提案のとおり、この時間帯は乗りやすいですよというところを公式LINEにも発信するということを今思いつきましたので、その辺のところを検討していこうかなと思っております。

【田中会長】

ありがとうございます。ほかは何かございますでしょうか。ご質問、アドバイス等がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

今まで、気になっていた「場所」という問題だけではなく、今回、委員の方から「時間」という考え方で重ねてみてはどうかというお話がすごく多かったような気がします。このあたりも今後検討していく価値があるのではないかと今回の議論を聞いていて思いましたので、ぜひ検討いただけたらと思います。

それでは、門真市乗合タクシーについては、これは報告いただきましたという形でよろしいですね。

案件3 門真南ルートワゴン型バスについて

【田中会長】

続きまして、案件3に移りたいと思います。「門真南ルートワゴン型バスについて」、事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【事務局 (PCKK)】

資料7の「門真南ルートワゴン型バスについて」を説明

(説明)

【田中会長】

どうもありがとうございました。今の資料7、門真南ルートワゴン型バスについて、ご意見、ご質問等がありましたらよろしくお願いいたします。

【西堀副会長】

ご説明ありがとうございました。3ページの降雨量と利用者数の分析をしていただいてありがとうございました。結果的には雨が降れば利用者が増えるという単純な関係性ではないということだと思います。

この質問させていただいた意図は、自転車が使えない日にバスに乗る人がもしいるのであれば、潜在的な需要が可視化できるのかなということでお聞きしたわけですが、結果的にはそうはならなかったということだと理解いたしました。

1つだけ気になったというか、確認ですが、日数を書いていたのですが、曜日は全部をまとめて分析されているということでしょうか。例えば1～2mmは1日だけですが、土日が重なっていたら少ないのは仕方ないかなと思ったりもいたしました。

【事務局】

本日の資料の中では曜日を考慮しておりません。降雨量だけで集計させていただいております。

【田中会長】

ありがとうございます。集計する際には曜日を見ながらとか、そういったことは。

【事務局】

曜日の記録は残しているのですが、曜日との関係について、今明確なお答えができない状況でございます。

【田中会長】

わかりました。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

課題点がはっきりと出ている分析かと思います。最後のところでご説明いただいた利便性と効率性の両立に留意しながら運行改善案の作成の資料8が気になるところでありますので、ほかにご意見がなければ、この件につきましては報告いただきましたという形で、次の案件に移らせていただきたいと思います。

案件4 門真南ルートワゴン型バスの再編について（諮問）

【田中会長】

続きまして、次第2の「議事」案件4「門真南ルートワゴン型バスの再編について」、これは決議事項となっております。事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（PCKK）】

資料8の「門真南ルートワゴン型バスの再編について」を説明

（説 明）

【田中会長】

どうもありがとうございました。そうしましたら、今回の門真南ルートワゴン型バスの再編について、ご意見、ご質問等がありましたらよろしくお願いいたします。

【檀委員】

お世話になります。京阪バスでございます。弊社の廃止しているエリアにつきまして、補完をいただき、ここまで迅速に検討いただき、大変ありがとうございます。目標は1便当たり7.7人と非常に高いというふうに見て取れるのかなと思っているのですが、乗り継ぎ例に記載いただいているとおり、当社のバスに乗り継いだら大和田駅に出ることが可能になるというふうにご検討いただいておりますので、その辺の

ご協力をできるだけさせていただきたいと思っています。A3のポスターとか、もし何か作られるのであれば、弊社の門真営業所の車内に掲出したりというご協力はさせていただきたいと思っております。

【事務局】

ありがとうございます。循環バスに関して、朝便、昼便、夕方便と分けている理由のところ、1日当たりの運転手さんお1人で運転できる9時間というところ、その一番組めるダイヤを組んだというところ です。

ですが、空いている時間帯が出ていたり、便数も1日12便というので、路線バスとしては少ないので、やはりこれだけでは補完できないというか、満足いくものではありませんので、やはり現行走っている近鉄バスさん、京阪バスさんとの相乗効果であったり、乗り継ぎであったり、隙間のところをお互い埋めていけるようなものを構築していこうというところで、ダイヤ編成であったり、路線の再編計画を立てているところでございます。ですので、バスの中で乗り継ぎ案内の掲出、これはぜひさせていただきたいというところです。

資料のほうで、先ほど乗り継ぎ事例というところで3パターン書かせていただいているのですが、これをもう少しわかりやすい形で、例えば朝の時間帯、この時間に乘ったら、この時間に古川橋に着きますよというような、少しわかりやすいチラシであったり周知できるもの、これを工夫して頑張って作っていかうと考えていますので、ぜひ京阪バスさん、近鉄バスさん、一緒に連携して満足と思っただけの公共交通を作っていきたいと行政も考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【田中会長】

どうもありがとうございます。前向きなご発言、ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問等ありますでしょうか。

【大石委員】

大阪運輸支局の大石です。感想、コメントめいたお話になるのですが、移動例で、具体的に何時に乗ったら何時に行きたいところに着くということをわかりやすく示すというのは、いろいろなエリアをお伺いしている感じは、できそうでなかなかできないところがありまして、非常にいい形の発信になると思いました。

1つ前の議題の本数を増やしてほしいというお声、本数を増やしてほしいというのいろいろな背景があつて、積み残しがあるとか、座れないとか、本数を増やしてほしい需要の原因というのはいろいろあると思うのですが、今回ターゲットとすべきは、乗れないというよりは、時間を合わせるのがハードルに感じるということだと思いますので、そうした方々のハードルを下げること限られた本数の中でも乗っていただくための工夫として、こういった移動例を詳しく示すというのはすごく結果が楽しみというか、今後見ていきたいなと思いました。

これに合わせて、コメントめいたお話なのですが、今回の再編でこういうところがよくなったというところを、これもわかりやすく示すと、よりポジティブに受け止めいただけるのではないかと。本数だけを数字でお示しして、ということにはならないと思うのですが、変わったところをわかりやすく示す方が伝わりやすくなるのではないかと感じました。感想ですが、以上です。

【田中会長】

どうもありがとうございます。今の感想に関して何かございますでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。今回、よくなった点といいますか、工夫した点を少しお話しさせていただこうと思います。

まず、便数に関しては、前回のバスが13便から、今回12便という形になっていまして、数は少なくなるというところがございます。ですが、夕方の便、最終を門真南出発18時58分で、一番乗り降りが多い門真団地に19時11分というところで、これは前回のバスのときは18時台で終了だったので、大阪市のほうに通勤・通学に行かれていた方が、定時で終わって帰ってくる時にも乗れないというところがございますので、ここを1便延ばすというところが今回工夫したところがございます。

あと、ルートのところで、前回のバスのスタートが、路線バスの廃止によって門真南駅に行くルートが断たれたというところで、激変緩和のために急遽走らせたというところがございます。明確な目的地が門真南駅しかないというところがございます。このあたりのところを大石委員のご提案に沿った形で、ららぽーとであったり、門真市駅であったり、市役所に行けますというところを、例えばバスにラッピングするとか、走る広告のような形でできるだけ周知をさせるというところで、走らせることによって周知し、利用につながっていくのではないかと感じました。

あともう1点、細かいところなのですが、門真市駅から逆方向への輸送というところ、これをループさせるような形でららぽーと行きのお客さんを取り込んでいくことによって利用者の増加につなげていこうというところ。このあたりのところは京阪バスさんからご提案いただいて、その辺も工夫してルートを編成したという経緯がございます。以上でございます。

【田中会長】

どうもありがとうございます。よろしいですか。

【大石委員】

ありがとうございます。こういう既存の交通事業者のダイヤに合わせるとか、ニーズにきめ細かく合わせるとか、そういったこともきめ細かくしていただいている、全体のリソースを最大限に活用するには、公的な乗り物もそうですし、民間企業の乗り物もそうですし、丁寧に会話をしながらできることをそれに合わせていき、利用者の方には全体として最大限のサービスを提供するということが重要だと改めて勉強させていただきました。

【田中会長】

どうもありがとうございます。ほかは何かございますでしょうか。

【西堀副会長】

コメントになりますが、目標、利用者数というべきものではないかもしれませんが、参考ですので、目標とするのは少し違うかもしれませんが、示されているところです。実態を見まして、1便当たり7.7人というところで、相当頑張らないといけないということかと思っております。

この数字ですが、無料化のときでさえという言い過ぎかもしれませんが、1.3人という状況で、かなり野心的という言葉でも軽いような印象があるのですが、そういうところから、そこを見据えるのであればしっかりと考えていく必要があると思って聞いております。

資料の3ページ目の左下のグラフ、曜日別の平均乗車数を示していただいているのですが、どこを増やしていくのが一番手っ取り早いといいましょか、数字が見えやすいのかというところで考えたときに、例え

ば月曜日ですと無料化時で19.8人、有料化時で17.3人ということで、そんなに落ちていない。一方で、土曜日は16.7人から6.9人に落ちているというところがあります。その要因がもしわかるのであれば、ここの需要を取り戻しに行くというところは1つの観点としてあると思っております。

今回ルートも変わって、ららぽーと、門真市駅にもアクセスするということでもありますので、そのあたりに期待したいところでございますが、蓋を開けてみて、状況を踏まえてどういった対策が考えられるかというところはまたご検討いただければと思います。以上です。

【田中会長】

どうもありがとうございました。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。

今の副会長の話もそうですが、距離とか、時間とか、本数という周知も大事ですが、先ほどのご説明にもありましたように、変わったところがわかりやすい周知を、先ほどのタクシーのほうの話でも広報に出た途端に利用者が増えたというときがあったようですし、市民の皆さんも、スマホでわかりやすければ使うということが分析にあったように思います、わかりやすさをというアドバイスをたくさんいただいたかと思しますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

そうしましたら、この件は決議事項になっておりますので、採決をしたいと思ひます。

門真南ルートワゴン型バスの再編についてということで、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。お諮りいたします。

（「異議なし」の声あり）

【田中会長】

ありがとうございます。ご異議がないようですので、門真南ルートワゴン型バスの再編については事務局案を採用し、決定いたします。

案件5 答申書（案）

【田中会長】

次に、案件5「答申書（案）」、事務局より説明をよろしくお願ひいたします。

【事務局（木村）】

事務局です。お手元の資料9をご覧ください。

本市より「門真南ルートワゴン型バスの再編について」、資料4に添付していますが、諮問いたしましたことについて、当会議におきましてご審議を賜り、本日、お諮りいただきました「門真南ルートワゴン型バスの来年度の運行計画」を添えて市長に対し答申をいたします。以上です。

【田中会長】

ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご意見等ございますでしょうか。

それでは、この答申書（案）について、事務局案のとおりとしてよろしいかお諮りしたいと思ひます。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【田中会長】

ありがとうございます。ご異議がないようですので、この答申について、事務局案を採用し、決定いたします。

後日、これも事務局より市長に対し答申書の提出をよろしくお願いしたいと思います。

決議事項につきましては以上でございます。

3. 門真市地域公共交通会議のスケジュールについて

【田中会長】

次に、次第3に入りたいと思います。「門真市地域公共交通会議のスケジュールについて」、事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（長光課長）】

来年度の門真市地域公共交通会議につきましては、2回を予定しております。

本日ご答申いただきました門真南ルートワゴン型バスの来年度の運行計画について実施し、門真市乗合タクシーの実績も含めてご報告等をさせていただき予定といたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。以上です。

【田中会長】

ありがとうございます。来年度のスケジュールについてご報告をいただきました。何かございますでしょうか。よろしいですか。

4. その他

【田中会長】

次に、次第4に入りたいと思います。その他ということで、何かございますでしょうか。

【檀委員】

弊社京阪バスは、本年の3月23日に、今年度4回目になるのですが、ダイヤ改正を実施させていただきます。詳細につきましては既にホームページで掲出させていただいているのですが、門真市内におきましては、ららぽーとに行っている門真南からの路線について、廃止をするということになっております。このあたりも運転手不足というのが結果としてはなかなか改善していないと。昨年度につきましては、入社していただいている数につきましては2023年度と比較して倍にはなっているのですが、退職者につきましては依然それを超える人員が退職しているというところがございますので、結果としては改善していないというところになりますので、引き続きまだ変更等がある可能性もあるのですが、とりあえず今年度4回目の3月23日にまたダイヤ改正がございますので、ご確認いただけたらと思っております。以上です。

【田中会長】

どうもありがとうございます。そのほかは何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、以上で本会議を終了させていただきたいと思います。本日は議事進行にご協力をいただきましてまことにありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。

5. 閉会

【事務局（長光課長）】

本日は大変貴重なご意見、まことにありがとうございました。

本日いただきました答申も踏まえまして、来年度の会議では、課題などを改めて整理し資料をご用意させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは会議を終了いたします。本日はまことにありがとうございました。